

教科	数学	観点	① 知識・技能	
学年	2年生		② 思考・判断・表現	
授業形態	分割		③ 主体的に学習に取り組む態度	
教科目標	課題が明確で、知識・技能の習得ができる授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化			
学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	式の計算	式の加法・減法	文字を用いた式を活用することのよさを実感し、それを用いて数量や数量の間の関係を的確に表現し、説明することができる。また、いくつかの文字を含む四則計算が正しくできる。	①③
		いろいろな多項式の計算		①③
		単項式の乗法・除法		①③
	連立方程式	文字式の利用		②③
		連立方程式とその解		①③
		連立方程式の解き方		①③
2学期	一次関数	連立方程式の利用	②③	
		一次関数	①③	
		一次関数の値の変化	①③	
	図形の調べ方	一次関数のグラフ	①②③	
		一次関数の式を求めること	①③	
		方程式とグラフ	②③	
3学期	図形の性質と証明	連立方程式とグラフ	②③	
		一次関数の利用	②③	
		角と平行線	①③	
	場合の数と確率	多角形の角	①③	
		三角形の合同	①③	
		証明とそのしくみ	①③	
箱ひげ図とデータの活用	証明の進め方	証明の進め方	②③	
		二等辺三角形	①③	
		直角三角形の合同	①③	
	箱ひげ図	平行四辺形の性質	①③	
		平行四辺形になるための条件	①②③	
		いろいろな四角形	①③	
箱ひげ図	平行線と面積	①②③		
	四角形の性質の利用	②③		
	確率の求め方	①③		
箱ひげ図	いろいろな確率	①③		
	確率の利用	②③		
	箱ひげ図	①③		
		データを活用して、問題を解決しよう	四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解することができる。また、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し、判断することができる。	②③

◎評価の方法

- ①②・・・定期テストや実力テストの点数。また、小テストの点数や課題など
 ③・・・提出物や課題の出来や提出状況。また、授業中における取り組みの様子など

◎学習のポイント（学習の進め方について）

教科書を章ごとに指導していきます。
 予習・復習に取り組み、授業の内容と並行して、ワークを行ってください。